

三和小学校 学校教育目標

「ともに学び合い、主体的に行動する児童の育成」

目指す子供像

目指す学校像

目指す教職員像

- やさしい子
- よく考える子
- やりとげる子

- 児童が、学ぶ楽しさを味わえる学校
- 教職員にとって、やりがいのある学校
- 保護者や地域から信頼され、協働型の三和小学校

- 熱意と誠意と創意をもった教職員
- 自己研鑽に励み、同僚性を発揮する教職員
- 学校・家庭・地域の連携と協働を大切にする教職員

教務運営の基本方針

- 校長を中心とした学校運営体制の中で、主体的に学校経営に参画する意識をもち教務に関する職務を遂行する。
- 学校教育目標の具現化を図り、三和小学校教育の創造のための企画立案に努める。
- 学習指導要領等の法令を遵守し授業時数の確保に努め、児童の学習時間の確実な達成に努める。
- 校内の各部・委員会、小中との連携を深め、連絡調整を図り、効率のよい校務の推進を図る。

具体的な取組

校長を中心とした組織的な学校運営	教育課程の編成と管理	授業研究の推進と授業改善	基礎・基本の定着と学力の向上
<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理職への報連相を徹底し、常に学校の現状と課題について共通認識をもつように努める。 ○ 学校教育目標の具体化を図る。 ○ 各分掌・各学年に年間を見通した指導助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に基づいた適切な教育課程を編成する。 ○ 実施授業時数と内容を確認し、適切な授業時数を確実に確保する。 ○ 定期的に教育課程に関する諸帳簿を点検し、適正な実施を図るとともに適切な指導助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研究部と連携し、授業研究を計画し、全校での授業改善に取り組む。 ○ ペア・グループを活用した対話的な学習活動を充実させる。 ○ アクティビティ型授業の設定とファシリテーションを活用した指導方法の工夫を取り入れた学習活動を推進する。 ○ やってみたいタイムを実態に応じて実施するとともに、情報モラル教育を計画的に実施し、児童の情報活用能力を高める。 ○ 成果と課題を明らかにし、改善の視点を明らかにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学力検査（学習・意識・生活）を活用した実態把握をし、授業改善をすることで学力の向上を図る。 ○ 学習規律（「5つの約束」）や学習習慣の確立と自ら学習を調整する力の育成を図る。 ○ タブレット端末の活用と情報モラル教育を充実させる。